

# 令和 2 年度横須賀市商店街調査報告書

【お問合せ先：横須賀市文化スポーツ観光部商業振興課 商店街活性化担当 TEL 046-822-8543】

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、市内商店街の現状や課題を把握し、今後の商業施策に活かすことを目的として、平成 19 年度から毎年度実施しており、今回は第 14 回目の調査となります。

また、商店街団体の負担軽減を図るため「詳細調査」は 4～5 年度に 1 回を目安とし、それ以外の年度は商店街団体の加入状況など、商店街の基礎的な状況を把握する「簡易調査」を実施しています。(今年度は「簡易調査」)

### 2 調査の対象

商店会等の商店街団体全 75 団体(令和 2 年 8 月現在)を調査の対象としました。昨年度の調査後から解散があったため団体総数は昨年度より減少しています。

### 3 調査の方法

調査票は郵送により配布し、回答は郵送または F A X により回収しました。(一部聞き取りによる回答も実施。)

### 4 調査の期日

令和 2 年 8 月 1 日現在で実施しました。

### 5 回収の状況

75 団体からの回収数は 60 団体、回収率 80.0%となりました。  
(昨年度：回収率 91.3%、一昨年度：回収率 70.0%)

### 6 報告書中の表記

回答の構成比は小数第 2 位を四捨五入しているため、各構成比の合計は必ずしも 100%にはなりません。また、複数回答の質問では合計が 100%を超えることがあります。

## 7 商店街団体の基本特性

回答した 60 団体の基本特性(組織形態、組織規模)の分布は、次のとおりとなっています。

### (1) 組織形態

60 団体の内訳は、振興組合(9 団体 : 15.0%)、協同組合(4 団体 : 6.7%)、一般社団法人(1 団体 : 1.7%)、任意団体(46 団体 : 76.7%)となっており、任意団体が大多数を占めています。

組織形態	団体数	構成比
振興組合	9	15.0%
協同組合	4	6.7%
一般社団法人	1	1.7%
任意団体	46	76.7%
合計	60	

(参考) 昨年度

団体数	構成比
9	12.3%
4	5.5%
1	1.4%
59	80.8%
73	

### (2) 組織規模(会員数)

会員数の内訳は、20 店舗未満(22 団体 : 36.7%)、20~49 店舗(24 団体 : 40.0%)、50~99 店舗(12 団体 : 20.0%)、100 店舗以上(2 団体 : 3.3%)となっています。会員数が 49 店以下の、比較的小規模の商店街が大多数(76.7%)を占めています。

会員数	団体数	構成比
20 店舗未満	22	36.7%
20~49 店舗	24	40.0%
50~99 店舗	12	20.0%
100 店舗以上	2	3.3%
無回答	0	0.0%
合計	60	

(参考) 昨年度

団体数	構成比
26	35.6%
31	42.5%
11	15.1%
4	5.5%
1	1.4%
73	

## Ⅱ 調査の結果

### 1 商店街団体の会員の状況

#### (1) 会員数

市内の商店街団体に加入している会員の合計は、2,211 店舗となっています。

1 商店街団体あたりの平均会員数は、36.9 店舗です。

#### (2) 未加入店舗数

商店街団体に加入しない未加入店舗の合計は、243 店舗となっています。

1 商店街団体あたりの平均未加入店舗数は、4.1 店舗です。

#### (3) 未加入率

商店街団体に加入しない未加入店舗の比率は、9.9%となっています。

$$243 \text{ 店舗} \div (2,211 \text{ 店舗} + 243 \text{ 店舗}) = 9.9\%$$

(参考) 昨年度

$$332 \text{ 店舗} \div (2,498 \text{ 店舗} + 332 \text{ 店舗}) = 11.7\%$$

### 2 商店街の法人化について

商店街の法人化について、「近年中に法人化する為に準備を進めている」という回答は1団体(1.7%)、「法人化する方向で、今後の方向性を検討している」という回答は4団体(6.7%)でした。「法人化するつもりはない」という回答は41団体(68.3%)あり、高い数値であることがわかります。法人化するつもりがない主な理由としては、店舗の減少や店主の高齢化のほか、商店街自体が存続するか分からない、商店街としての活動が少ない、法人化によって増加する事務が負担になるという意見がありました。

(参考) 昨年度

項目	団体数	構成比 (%)	団体数	構成比 (%)
既に法人団体	14	23.3%	14	19.2%
近年中に法人化する為に準備を進めている	1	1.7%	0	0.0%
法人化する方向で、今後の方向性を検討している	4	6.7%	2	2.7%
法人化するつもりはない	41	68.3%	54	74.0%
無回答	0	0.0%	3	4.1%
合計	60		73	

### 3 共同施設（アーケードや街路灯）の状況

回答団体の 60 団体中共同施設保有団体は 52 団体。5 年以内またはすぐに整備が必要な団体が 65.4%となっており、多くの団体が整備の必要性を感じていました。また、撤去を検討している団体は 5 団体ありました。しかしながら、費用の準備が万全な団体は 2 団体で、多くの商店街で整備費用の確保に課題があることがわかります。

共同施設の整備の必要性

項目	団体数	構成比
整備の必要性を感じない	7	13.5%
さび等があり、5年以内に整備が必要	29	55.8%
腐食等があり、すぐに整備が必要	5	9.6%
撤去を検討している	5	9.6%
無回答	3	5.8%
その他（現在撤去中）	3	5.8%
合計	52	

(参考) 昨年度

団体数	構成比
22	35.5%
26	41.9%
11	17.7%
昨年度は選択項目なし	
2	3.2%
1	1.6%
62	

撤去費について

項目	団体数	構成比
費用の準備が万全	2	3.8%
準備はあるが、補助金が必要（補助金があれば足りる）	28	53.8%
準備はあるが、補助金を申請しても足りない	18	34.6%
全く準備がない	3	5.8%
無回答	1	1.9%
合計	52	

(参考) 昨年度

団体数	構成比
2	3.2%
53	85.5%
昨年度は選択項目なし	
5	8.1%
2	3.2%
62	

#### 4 キャッシュレス決済の導入状況について

キャッシュレス決済については、導入店舗が半分以上の団体が6割以上、また5割近くの団体が導入する予定はないと回答しており、商店街として一括導入する団体等は少なく、導入については各店舗に任せている状況であることがわかります。また、導入への懸念事項として、手数料が負担になる、システムの変更に対応できるか分からないという意見がありました。

項目	団体数	構成比	団体数	構成比
ほとんどの店舗で導入	8	13.3%	6	8.2%
半分程度の店舗で導入	14	23.3%	7	9.6%
これから導入したい	3	5.0%	少数の店舗で導入 26 団体 35.6%	全く導入していない 29 団体 39.7%
導入セミナーを開催してほしい	2	3.3%		
導入したいが懸念事項がある	7	11.7%	5	6.8%
導入する予定はない	29	48.3%		
無回答	2	3.3%		

※複数回答可

#### 5 今後市に取り組んでほしい事業について

今回の調査で、市に補助事業に取り組んでほしいと回答した団体は40団体あり、6割以上の団体が補助金による支援を希望していることがわかりました。(補助金を希望する40団体は、街路灯等の整備事業の補助を希望する21団体、イベント等のソフト事業の補助を希望する5団体、どちらの補助も希望する14団体の合計です。)

項目	団体数	構成比	団体数	構成比
街路灯、防犯カメラ等に対する補助	35	58.3%	43	58.9%
イベント等に対する補助	19	31.7%	19	26.0%
課題解決に向けた専門家派遣	8	13.3%	6	8.2%
先進活動事例の紹介	9	15.0%	8	11.0%
その他	8	13.3%	1	1.4%
無回答	13	21.7%	0	0.0%

※複数回答可

#### 6 市への意見等

今回の調査で、意見等自由記入欄に記入のあった件数は8件でした。その内訳は、活動状況に関するものが4件、市への提案・提言が2件、補助制度への質問が1件、ご意見が1件でした。